

# 箱根 駅伝

祝！総合優勝  
特別インタビュー



▲岩田町長も優勝を祝福

青山学院大学 2年

## 飯田 貴之さん

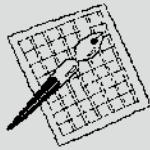
1月の箱根駅伝で5区山上がりを走り、青学大5回目の総合優勝に貢献した飯田さんのインタビューをお届けします。

### ●飯田 貴之

Takayuki Iida

平成11年(1999年)6月生まれ。東庄中学校、八千代松陰高校を経て青山学院大学へ進学。大学1年時から箱根駅伝に出場し、昨年は8区を区間2位。今年は箱根の難所の山上がり5区で区間新記録の好走、大学の総合優勝に貢献。

# 町長日誌 (1月)



- 6日 仕事始めの挨拶、庁議
- 7日 千葉県町村会知事室訪問（県庁）、千葉日報新春賀詞交歓会（京成ホテルミラマーレ）
- 8日 農業委員会新年会
- 9日 香取郡市名刺交換会（香取神宮）、香取郡市町会臨時総会（多古町）
- 12日 成人式、新春懇談会
- 13日 消防団消防出初式・祝賀会
- 20日 公明党新春のつどい（TKPガーデンシティ千葉）
- 21日 行政・町及び東庄青果役員市場訪問（東京富士青果）
- 22日 国と町村の道路政策に関する意見交換会（全国町村会館）
- 23日 全国町村会正副会長会・全国自治協会理事会・都道府県町村会正副会長交流会・意見交換交流会（全国町村会館）
- 24日 小見川交通安全協会東庄支部新春交通安全祈願祭・新年会
- 29日 地方公共団体情報システム機構代表者会議（全国町村職員会館）



（右頁）ゴールテープを切り歓喜の雄叫び、（右）気合の入ったタスキリレー、（左）箱根の山を力走すべてご家族提供

## ふるさと東庄の皆さんに走る姿を届けたい

——箱根の山を走った感想をお聞かせください

タスキをもらったとき、負いやプレッシャーはありませんでした。監督からの指示も「のびのびと、練習どおりでいいよ」と、後続の選手に

抜かされたとしても、翌日の復路につながる走りしようといった感じでした。

レース2日前、青学大OBで「山の神」神野大地さんと話す機会がありました。「小涌園から頂上までの4キロはかなりキツく、どんな強い選手でも落ちるから、そこで差が付く」とアドバイスをいただきました。小涌園からガンガン行こう、出し切ろうと思っていました。「上りで全部体力を使い切っても下りは走れる」との言葉のおかげで、その4キロを全力で上りました。すぐくキツくて、山を上り切ったラスト5キロは、足がっつりそうな状態で、限界でした。山の区間は、道幅が狭いた

め沿道の声援が近く、友だちや家族の応援も分かりました。大平台のヘアピンカーブが、個人的には一番キツイポイントでしたが、そこに地元友だちが応援しに来てくれていました。「飯田」と大きく書かれたTシャツを着て、「貴之」のピンクのうちわを



▲優勝を報告

持って応援する姿を見たときには、思わず笑っちゃいましたね。本当にしんどい場面で、応援が力になり、いつも以上の力を発揮することができたと思っています。

ゴールテープを切ったときは、とにかくうれしくて、叫んでいました。先輩たちが笑顔で迎え入れてくれて、喜びを分かち合いました。今年はチームとして箱根駅伝の優勝を掲げていたので、本当にうれしいです。

——今後の夢、目標を教えてください

夢は変わらず、オリンピックでマラソンの日本代表として走ることです。チームの目標は、箱根駅伝を連覇することと、3大駅伝（出雲、全日本、箱根）3冠すること。個人としては、箱根駅伝での区間賞を狙いたいです。

——町民の方へメッセージをお願いします

小さい町だからこそ人の温かさを感じています。たくさんの方に応援していただき励みになります。走る姿で、感動を与えるまではいなくても、見て楽しんでほしいです。